

## 保護者アンケートの結果から

### I 意欲的に学習に取り組み、多くの知識を習得し、正しい判断力をもつ子を育てる

・「1-1 お子様は着実に学力を積み上げている」が90%を超える高評価をいただいた。各担任がわかりやすい授業を心がけていることや、校内研究で「自分発⇒みんな経由⇒自分行き」の学びをめざして授業改善を行っている成果として捉えている。また、基礎基本の充実には、家庭学習（宿題）に対する戸手小の保護者の皆様の協力も大きくつながっていると思われる。今後も家庭との連携を大切にしていきたい。

・感染症予防対策を講じながら、今年度は昨年度には取り組めなかった調理実習を行ったり、昨年度より出前授業を多く行ったりした。しかし、その取り組みが保護者の皆様へ周知できていなかったためか、もしくはコロナ以前より出前授業が行えていないためか、「1-3 学校は外部の教育力を教育活動に生かしている（豊かな体験活動）」のポイントが昨年度より下がっている。学習指導要領が改訂されているため、コロナ以前と同様の体験を行えないこともあるが、教育効果の高い体験活動を大切にしながら学習を進めていきたい。また、学習活動の様子が保護者の皆様に伝わるよう、学校だよりや学校ホームページを検討して発信していきたい。

・「1-4 読書を楽しんでいる」のポイントは、全項目の中で一番低いポイントであった。児童のアンケート結果でも、他項目と比べて低めのポイントであり、好き・嫌いが分かれていると捉えられる結果であった。今年度は、読み聞かせボランティアさんによる読み聞かせ活動を1・2年生は月2回程行っていたり、3～5年生に向けても後期に読み聞かせをしていただいたりした。また、学校司書を配置し学習支援や図書館の整備も充実した。来年度以降も子どもたちが本に触れる機会をたくさん作り、読書の良さが実感できるように努めていきたい。

## Ⅱ 情操豊かで、思いやりのある子を育てる

・5つの重点項目とも、90%以上の保護者の方々が肯定的に捉えてくださっている。特に「2-2 お子様は友達とのふれあいを楽しんでいる」は、どの学年もポイントが高い。また、児童アンケート結果でも、96.9%の児童が友達と楽しく過ごしていると回答している。友達とよい関係を築けていることがうかがえる。今後も学級活動や異学年交流、高学年はクラブや委員会などの場も活用して、人の関わりを育む活動を継続していきたい。

・学校教育ボランティアさんのご協力により、廊下や階段、トイレ、流しなどを消毒清掃していただいたり、図書室の環境を整えていただいたり、学校前の花壇の手入れをしていただいたり、校内の環境整備にご尽力いただいている。そのことが、「2-5 お子様は学校で気持ちよく学習したり活動したりしている」の高評価につながっていると思われる。児童にも自ら気持ちよく学習できる環境づくりを考え実践していく力も育てていきたい。

## Ⅲ 心身共に健康で前向きに生活する子を育てる

・挨拶に関しては、保護者の皆様の捉え（68%）、児童の捉え（88%）について大きく差がある結果となった。あいさつはコミュニケーションの第一歩と捉え指導を行っている。学校内での様子を見ていると、自分から進んで挨拶をしている児童は多くなってきているが、先生や友達から挨拶をされると反応を示す児童の方が多い。反応は様々で、声を出して返事をする児童もいれば、軽く会釈をする程度の児童もいることから、挨拶は大切であると意識しているため児童の評価は高めになっているのであろう。自分から先に声を出して挨拶をしていけるようになることが、課題であると思われる。毎年行われている児童会活動による挨拶運動を継続して行ったり、教員も今まで以上に率先して挨拶をして元気な雰囲気づくりをしたり、保護者の皆様にも様子をお知らせしたりするなど、挨拶に対する意識をさらに高めていきたい。

・コーディネーター便りを出してはいるが、今年度は校内の事情で不定期発行となり、コーディネーターの活動をお知らせする機会が少なくなってしまった。支援教育コーディネーターは、担任以外の保護者の相談役であったり、学習支援が必要な児童や不登校傾向にある児童の支援を行ったり、学校巡回カウンセラーとの面談の連絡調整を行ったりしている。来年度はコーディネーターの活動を積極的に周知していきたい。

## Ⅳ 地域に学び、地域に発信する学校づくり

・昨年度「4－1 学校の方針や子どもたちの様子が家庭に伝わっている」の評価が低かったことを受け、学校だよりや学年便りだけでなく、学校ホームページを活用して、各学年の学習の様子を写真とコメントで月1回掲載してきた。しかし、そのホームページ掲載に関する情報発信が足りなかったためか、残念ながら今年度も他項目に比べると評価が低かった。学校だよりや学年だよりでも、ホームページの掲載について触れて、学校の取り組みを知ってもらうように工夫していきたい。

・「4－4 学校の教育活動を理解し協力するように心がけている」のポイントが約93%であった。今年度も感染症予防対策のための授業参観の人数や時間の制限、検温・消毒などに取り組みながら学校教育活動を実施していたが、ご理解ご協力いただき大変ありがたかった。今後も地域や保護者の皆様と健康で安全な学校を目指し、信頼していただける学校づくりに努めていきたい。

## 児童アンケートの結果から

○全校の結果として、「そう思う」「どちらかというと思う」をたすと、15項目すべて80%を超えている。楽しく学校生活を過ごしている子どもたちが多くいると捉えることができる。今後も子どもたちが充実した学校生活を送れるように努めていきたい。

○「1. 学校で友達と楽しく過ごしている」「7. 先生は困ったこと分からないことがあった時に話を聞いてくれる」のポイントが高い。また「12. 友達と意見が合わな時でもいい争いはせず話し合う」のポイントは、昨年度より2.7ポイント上がった。自主性を育む雰囲気づくりに努めたり、トラブルがあった時に担任の先生を中心に、時間を取って丁寧に話を聞き解決してきたりした成果と思われる。

○「2. 授業では思いや考えを伝えている」「6. 読書は楽しい」「13. 先生や友達と進んで挨拶をしている。」は、全校80%は超えているものの他項目と比べると低い。話し合い活動の工夫、読書の推進、児童会活動を活用した挨拶運動などを行っていきたい。